



ちば あつし
千葉 敦
(日本共産党)

- 中山間地域の農林業や畜産業の振興策は
- 小学生が等しく学童保育が受けられるようにすべき

質問 市内の多くを占める中山間地域の農林業や畜産業の振興策は何か。

市長 平地に比べ、生産条件が不利である中山間地の集落等に農業生産活動を支援するため、中山間地域等直接支払い制度により、交付金を支出している。

質問 和牛の頭数減少の一因である飼育者の高齢化に対して、労力の大きい乾草作り作業を集落営農に組み入れることにより、高齢者の負担軽減と循環型農業ができるのではないかと。

市長 集落の合意があれば中山間地交付金の活用は可能である。

質問 共働き、ひとり親家庭などが増えている中で、学童保育を必要とする家庭が増えている。市内に設置されている放課後子ども教室(文科省推進)と放課後児童クラブ(厚労省推進)においては、設置場所や運営、環境がまちまちであり、市内の小学生は等しく学童保育を受けられるように講ずるべきと考える。これらの今置かれている現状と課

題は。

市長 放課後児童クラブは34箇所を設置されている。平成27年より6年生まで拡大されるので、新たな場所の確保が必要である。

教育委員長 放課後子ども教室は11箇所を設置されている。開設日拡大が課題である。

質問 指導員不足で毎日開設できず、場所が狭く、苦勞して運営している子ども教室がある。6年前には児童センター設置の請願が採択されており、放置されたままではないかと。

教育委員長 新築中の地区センターに場所を確保している。



ある牛舎の一コマ



なか にし ひで とし
中西 秀俊
(奥和会)

- 企業誘致で持続可能なまちを
- 明るい地域はスポーツ振興で
- 江刺田瀬ICからアクセス道を

質問 企業誘致の選択の決め手は土地価格や優遇税制措置、行政支援、アクセスや人材確保のしやすさ、環境の良さだ。奥州ゆかりの方々のネットワークの活用や市を売り込むトップセールスを強力に推し進めては。

市長 本年度は、本社機能や企業情報が集中する関東圏を中心に新規折衝企業の拡大を目指す。また、自動車関連産業、半導体関連産業の誘致を柱に情報収集、投資動向の把握に努め、積極的に首都圏等でトップセールスを展開する。

質問 それぞれのスポーツライフスタイルの中で、誰もが気軽に参加できるような環境づくり、きっかけづくりが必要だ。スポーツのまちや健康づくりに30の地区センターを拠点に関係団体と一体となり推進を。

市長 運動は心身両面にわたる健康の保持増進に大きな効果と活力ある地域づくりにも貢献する。地区センターは、振興会にとつて総合的な地域活動拠点でグラウンドや体育館も備えている。市民に身近で親しみやすい活動

の場を提供する協力体制の整備をする。

質問 江刺田瀬ICから市中心部へのアクセス道の整備を期待。地域住民の安全確保や路面を改善することで家の振動を抑制できる。またILC候補地としてアクセス道になるのでは。

市長 館下地内の桁形Y字路交差点の拡幅が行われる。利用増加も見込まれる中で、利用者を円滑に目的地に誘導するため、館下バイパス整備に加えて市内への交通誘導看板設置等の整備を県に要望して行く。ILCに

関しては地域全体で効率的なネットワークを形成するように国や県と検討のみに進める。



整備された江刺中核工業団地入口の市道(2車線・ロードヒーティングなど)